

Pan-Report™

発行; PanRolling Inc.

年間購読料 63,000 円

無断転用禁止

#1001, Duo, 7-21-3, Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan, 160-0023 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-21-3-1001 fax03-5386-7393

《サヤ取りの実践 < 20 >》 1/2

サヤ取り

羽根 英樹 hane@panrolling.com

前回 (1289-1290) のフォローアップ (灯油のシーズナルスプレッド)

東京灯油は、順ザヤ化の途中と見ています。(図1参照) 現在のオカメザヤから完全な順ザヤに移行するのは、今月の10月限発会がひとつの節目になると考えています。以前にも述べましたが、2001年の順ザヤ移行パターンが参考になると思いますので、どんな動きをしたのかももう一度見てみると良いでしょう。また、実際に仕掛ける際には、どの限月で行うのかで、損益に大きな影響を与えます。図2のグラフは2つまたぎのサヤグラフですが、2つまたぎにこだわらず、順ザヤ化の際に最も値幅の取れる組み合わせを選ぶと効率の良いサヤ取りが出来ます。この時、サヤが「どんな形で変化していくのか」を考えて、動きが大きく有利な組み合わせを選ぶようにしましょう。

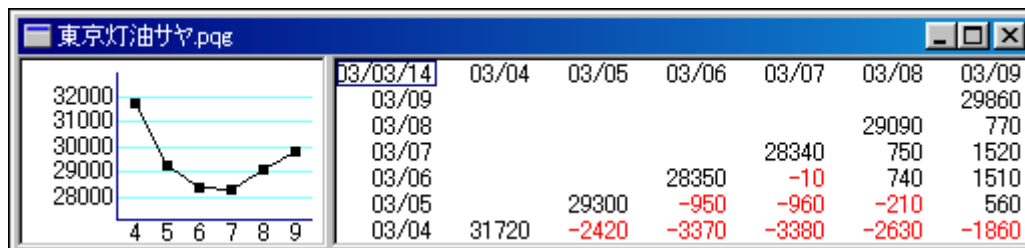


図1 東京灯油 3/14 現在のサヤ形とブロック

石油のサヤ取りについて

石油 3 銘柄のサヤ取りをする際の注意点を述べてみたいと思います。穀物やコーヒーからサヤ取りに入った方にとって、石油市場は、勝手が違い、なかなか難しい面が多いと思います。一番大きな違いは穀物やコーヒーなどの値決め方法が、板寄せであるのに対し、東工取の場合、ザラバであることでしょう。日中の値動きを見ることが出来ない方は、寄り付きで売買する事が多いと思いますが、限月間サヤ取りを行う場合、限月が離れるほど、寄り付きにタイムラグが発生します。これは、当限から順番に寄り付きの板合わせが行われる為で、例えば 3 番限と先限に寄り付き成り行きで注文を入れたとしても、3 番限が約定してから、先限が約定するまで 5 分程度はかかります。この間に 3 番限が大きく動いてしまうリスクを抱えてしまうことになるわけです。日中勤め人の皆様には甚だ難しい事であることを承知で書きますが、できれば、日中ザラバの板を睨みながら、注文するのが良いと思います。又、先限の出来高に比較して、期近になるほど極端に出来高が少なくなります。穀物などは、これが比較的なだらかに減っていくのですが、デイトレードの多い石油市場は出来高の多くが先限に集中しています。限月間サヤ取りを行う際は注意が必要です。

監修 / パンローリング
<http://www.panrolling.com/>

TEL03-5386-7391 後藤
 E-mail; goto@panrolling.com

Pan-Report™

発行; PanRolling Inc.

年間購読料 63,000 円

無断転用禁止

#1001, Duo, 7-21-3, Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan, 160-0023 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-21-3-1001 fax03-5386-7393

《サヤ取りの実践 < 20 >》 2/2

サヤ取り

羽根 英樹 hane@panrolling.com

オイルのストラドル（異銘柄サヤ取り）というとガソリン - 灯油を手がけている方が多いと思います。流動性という意味では申し分のない銘柄同士のサヤ取りですが、どちらも製品でしかも用途が全く違う為、時として歪な動きをすることがあります。これに対し、原油とガソリン（原油 - 灯油も）は、原料と製品の関係にあるため、原理的には比較的スムーズな動きが期待できます。せっかく、3銘柄そろった市場なのですから、原油を絡ませたサヤ取りも考えてみると良いと思います。

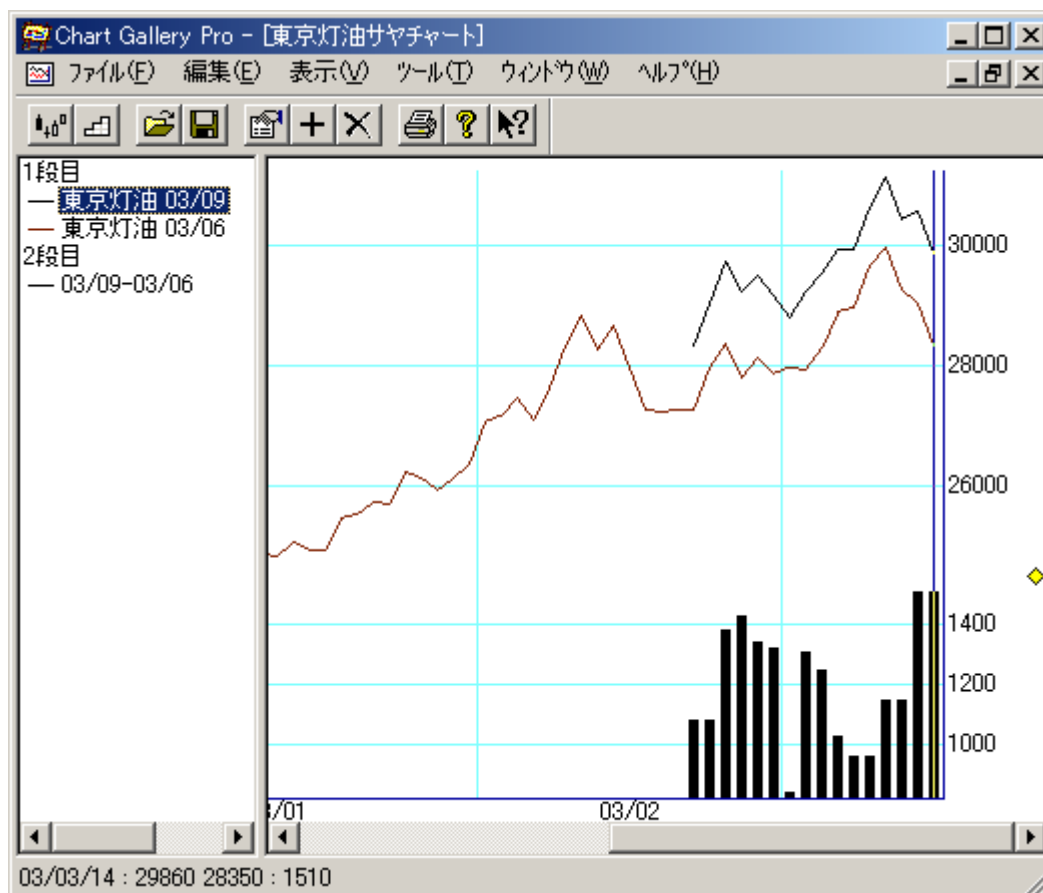


図2 東京灯油9月限 -6月限のサヤグラフ